

民意を無視しないで！

# 辺野古・大浦湾への 基地建設は中止を



政府は、地方自治体の権限を奪う「代執行」という強権的な方法で、沖縄県名護市辺野古に新しい米軍基地を造ろうとしています。沖縄県知事選挙や県民投票で示された、基地建設反対の民意を踏みこむものです。

これでいいの？

## 日米首脳会談で米国追従の姿があらわに

辺野古の米軍新基地建設は、沖縄県宜野湾市にある「世界一危険」と言われる普天間基地の「危険性除去」を目的にした「移設」というのが政府の説明です。しかし政府は、沖縄で横行する米軍機の無法な低空飛行や、繰り返される米兵犯罪には有効な対策を講じようとしません。

2月7日の日米首脳会談と共同声明は、トランプ政権の政策に無批判に追従する日本の姿を浮き彫りに

しました。沖縄の基地被害の実態や基地縮小を求める県民の声には一切触れず、辺野古の基地建設を推進する立場を改めて表明しました。

さらに、これまで共同声明の常とう句だった「普天間飛行場の継続使用を回避する唯一の解決策」という文言が、アメリカの意向で消されたことが報じられています。辺野古の基地ができて普天間は使い続けるという、在沖米軍幹部の発言とも一致します。

危険性除去は  
基地撤去で！

数兆円もの血税を注いで造ろうとしているのは、普天間基地になかった新たな機能を伴う巨大な軍事要塞です。この計画は、環境を破壊し、民主主義と地方自治、そして平和も壊すものです。普天間基地の危険性除去は、普天間基地の運用停止と撤去でこそ実現できます。



## 沖縄を戦場にさせないために

有事になれば標的にされるという懸念が沖縄で広がっています。日本が戦場となるとしたら、米国の対中戦略に自衛隊が加わり、それに巻き込まれる事態です。沖縄を再び戦場にさせないために日本政府がすべきなのは、憲法9条の立場で外交に徹し、東アジアの対話の枠組み作りと非核化実現に力を注ぐことです。



辺野古新基地建設の中止と普天間基地撤去を求める署名にあなたも！

日本平和委員会

2025年4月発行

一人ひとりの平和の願いをもとに行動する平和NGOです  
「平和新聞」(旬刊)、「平和運動」(月刊) 発行中

<http://j-peace.org/> (t) (f)

